

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	先端社会研究所
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

1. 研究所の活動理念としてresearchとempowerment、実践目標としてNetworking, Education、活動事業としてarchive, publication, workshop, S-cubeをそれぞれ置く。
2. 学部・部局横断的な研究・教育体制のもとで、「共生／移動」「景観／空間」「セキュリティ／排除」を三つの柱として関学らしい学際的な研究業績の発表を目指す。
3. 海外との学術ネットワークの構築に基づき、「共生／移動」「景観／空間」「セキュリティ／排除」に関する国際的な研究組織・体制を確立する。
4. 国内の関連する諸機関・組織との協同体制の確立に基づき、「共生／移動」「景観／空間」「セキュリティ／排除」に関する学際的かつ実践的な研究体制を確立する。

○指標

1. 運営委員会による研究所の活動計画・実施状況・成果発表に関する評価の実施。
2. リサーチコミティをはじめ複数学部・研究科に所属する教員による研究体制・グループの構成状況の内訳。「ミッションステートメント」に適った研究の実施状況。
3. 海外との研究教育機関との協定／協力関係の状況（実施件数）。研究者の海外からの受入れと海外への送り出しの実施状況（実績数）。
4. 大学外の諸機関・組織との学術交流・研究活動の状況（研究会・交流会の実施回数等）。ワークショップやSキューブの開催・実施状況（実施回数、共催相手数、等）。